



B形, BH形

カムスイッチ展開図の表し方

1 機能シンボル

接点操作の種類	シンボル
一般接点	●
残留接点	←●
連続接点	●→
ラップ接点	●→←

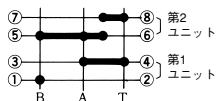
操作の種類	シンボル
手動復帰(回転方向)	図示しない
手動復帰(軸方向)	●→
自動復帰(復帰方向)	←●→
自動復帰(軸方向)	●→

2 展開図示法

展開図は盤面より見た図でハンドルは下側とします。
ノッチ位置は縦線、接続回路は横線で端子番号を付けます。接点記号の記入は端子番号の順番に手前のユニットより記入してください。

第1図

T2-1B1AT1BAL1TL

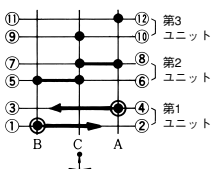


第1図は45°3段切換式で

- 端子1-2はBノッチで閉路
- 端子3-4はA, Tノッチで連続閉路
- 端子5-6, 7-8はA, Tノッチの中間で同時に閉路(ラップ)

第2図

SBZ3-1Y1Z1M1N1C1A



第2図は自動復帰式、引き操作方式で、中心位置で手前に引くことができ、手を離せば常時位置に復帰します。

- 端子1-2はBノッチで閉路し、中心位置に戻ってもそのまま閉路する。Bノッチにて開路する。
- 端子3-4はAノッチで閉路し、中心位置に戻ってもそのまま閉路する。Bノッチにて開路する。
- 端子5-6は Aノッチで閉路。
- 端子7-8は Bノッチで閉路。
- 端子9-10は Cノッチで閉路。
- 端子11-12はAノッチで閉路。

3 図示上の注意事項

1. ハンドル回転角度180°未満の場合

(ノッチ回転角45°の時ノッチまで)
総接点数が偶数の時(ユニット段数) = $\frac{(\text{総接点数})}{2}$

総接点数が奇数の時(ユニット段数) = $\frac{(\text{総接点数}) + 1}{2}$

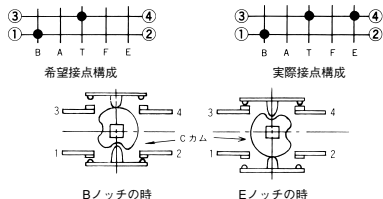
■ユニット段数

1ユニットあたり2個の接点が付きますから、ユニット段数は総接点数の半になるわけですが、ハンドルが180°以上回転する場合は1ユニットあたり2個の接点を組み合わせられない場合があります。

2. ハンドル回転角度180°以上の場合

(45°, 5ノッチ, 90°, 3ノッチ以上)
(ノッチ回転角45°の時5ノッチ以上)

1個のカムで上下2個の接点を動作させますから、カムが180°以上回転する場合は一方の接点を閉じさせるためのカムの凹部が反対側の接点をも閉じる場合があり、この場合は上下接点の組み合わせが自由にできません。



3. B形接点展開図(例)

接点の表示方法

F3-2B2AX2TX

